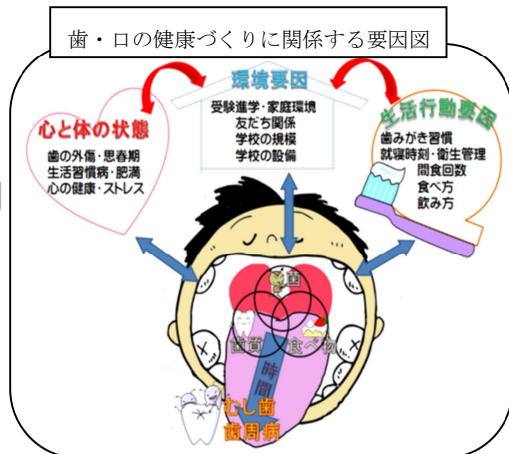
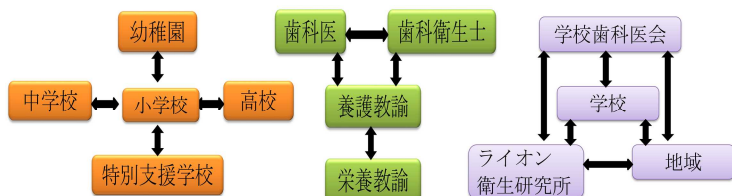


「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり」—よりよい生活習慣をめざして—

大阪市生野区学校保健協議会「歯・口の健康づくり」推進委員会

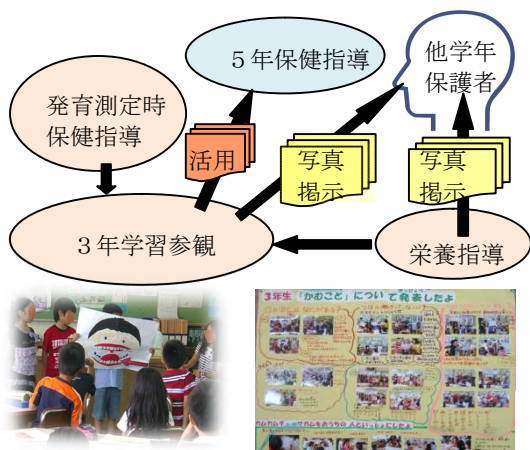
今回、生野区として指定をうけたことで学校保健協議会の組織の中に栄養教職員会の組織を加えて取り組みをすすめました。区としての取り組みとして、各校種、各職種、関係地域のこれまでの実践をもとに、連携を図ることで実践を深めました。「歯・口の健康づくりに関係する要因図」に示すように、歯・口の健康づくりから生涯を通じて自分の健康を守っていけるような生活習慣の確立をめざしていきたいと考えました。



《実践内容》

それぞれの連携実践の中から一部ですが紹介いたします。

○A小学校の栄養教諭と養護教諭、保護者との連携実践

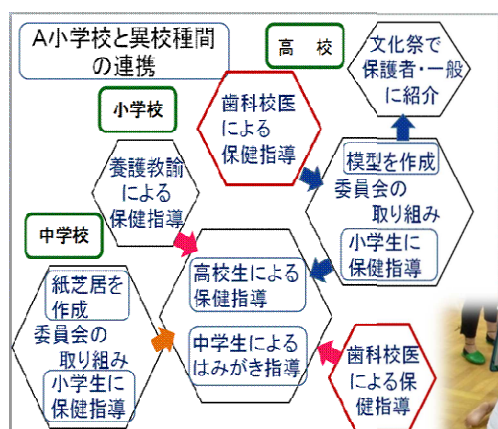


栄養教諭による栄養指導「かむかむ大発見」を3年生に実施しました。その学習の様子を模造紙にまとめて掲示し、他の学年や保護者が見られるようにしました。

また、養護教諭による保健指導「かむ効果とあごの骨」を実施した後、これまで学習したことを学習参観で発表しました。そして、噛むカムチェックガムを使って普段どのくらいかんで食べているのか、保護者と一緒に確かめました。

さらに、学習参観の様子をまとめて掲示し、他の学年も見られるようにしました。3年生が参観の発表で作った資料は、5年生の保健指導で活用し、5年生でも噛むカムチェックガムの体験をしました。

○A小学校と異校種間の連携実践



中学生による小学3年生への保健指導

高校生作 歯の模型

高校生による小学1年生への保健指導

高等学校での学校歯科医による指導